

令和8年第5回教育委員会定例会 会議録

日 時 令和8年5月26日（火曜日）午後1時30分～午後4時00分

場 所 北栄町役場 第1委員会室

出席者 笠見隆志教育長、徳岡幸裕委員、岡崎しづみ委員、西川健治委員、津島望委員

説明等の出席者 松本教育総務課長、渡辺生涯学習課長、杉川図書館長、松尾公民館長、眞山参事、稲井室長

（開始）午後1時30分

教育長

令和8年第5回教育委員会定例会を始めさせていただきます。

2 会議録署名委員の指名をお願いします。

事務局

徳岡代理と岡崎委員をお願いします。

3 行政報告

（教育長、各課長 資料にて説明）

教育長

行政報告は以上です。質問を受けたいと思います。教育長報告についてはいかがでしょうか。

西川委員

就学前教育についてももう少し知りたいなと思っていた時に、2 頁目 1 番最後にある一貫教育というところを読ませていただきました。まさに学びの連続性ってことが書かれているのですが、今日眞山先生の方から学びの連続性の授業で見たい視点、そういったものが配られてまさにこのことなのだろうなってことを思いました。思考錯誤しながらいろんな経験を積みながら学びの土台を形成させていくというそこら辺のことが大事なだろうなってことを思いましたし本町でもこの架け橋期のカリキュラムっていうのはアプローチとスタートカリキュラム両方がすごく大事なことになるのだろうなってことは思いました。こういうことがきっちりと話ができていたらよりスムーズな小学校への移行ってことにも繋がってくるのだろうなと思いました。

教育長

良く受け止めていただいているのは皆さんの共通の課題意識なのだなという感じで受けとめております。その他ございますでしょうか。（なし）。

教育総務課どうでしょうか。

徳岡委員

中学校の暴力は暴言ということでしょうか。中学校2年生の対教師暴力。

事務局

指導中に口論となって生徒の方がテンション高くなってしまって先生の足を蹴ったということです。

徳岡委員

保護者にはこういう事がありましたということを伝えるのですか。

事務局

もちろんこの件については保護者との話はされています。

教育長

その他いかがでしょう。それでは生涯学習課の内容についていかがでしょうか。

西川委員

聞き漏らしたかもしれません。山本さんの絵画展というのはいつあるのですか。

事務局

山本さんの企画展につきましては昨年の4月から5月にかけて行ったものです。

教育長

この作品についてはまた然るべき時に紹介されるじゃないかなとは思いますが。

西川委員

川本さんの作品が好きで何度か購入したことがあって、ちょうど行ったところビデオが流れてて、川本さんの今までの取り組みとか今日に至るまでの彼の思いが全部詰まったビデオがあればとっても良かったなって思いました。

教育長

生涯学習課そのほかよろしいでしょうか。(なし)

図書館いかがでしょう。連休中の人出の多かったのは感覚的なものとなると思いますけど、内訳といいますか町民さんなのか観光客の方なのか、どうでしたかね。

事務局

感覚的なものは観光客さんです。

教育長

ふらっと寄ってみた、というような休憩場所に使われた感じでしょうか。

事務局

そう思います。

教育長

その他いかがでしょう。(なし)

教育長

中央公民館どうでしょうか。

シニアクラブの総合の方私も一緒させていただいたのですが野外だったに関わらず結構多かったなという印象ですが、コース別のさっきの72人ですかね。これは変わらないですか例年と。

事務局

コース別も少し多いようです。シニアクラブの参加者が増えています。例年より10人ぐらい増えています。年間通して段々増えてくるというのがいつもなのですが、最初から多い状態というのはここ数年なかったかなと思いました。

教育長

大栄分館の小筆教室の参加人数の方には変化はなさそうですか。

事務局

変わってないと思います。

岡崎委員

シニアクラブの参加者の人数が増えているのは会員さんを通して声掛けをされたとかですか。

事務局

新規の方も増えた。

岡崎委員

私の周りでは行っていたのだけど高齢になってきてなかなか行けないという声があったのですがそれ以外で多いのがすごいです。

事務局

提供させていただいたく学習内容は運営委員会があるのでそちらの方でご意見に沿ったかたちでなるべく提供できるようにさせていただいています。

教育長

行政報告は以上とさせていただきます。

4 議案

○議案第 39 号 教育行政評価委員の委嘱について

事務局

(資料にて説明)

教育長

質問等ございますでしょうか。議案第 39 号 教育行政評価委員の委嘱についてご同意いただけますでしょうか。

(同意)

○議案第 40 号 北栄町延長保育実施要綱の一部を改正する要綱の制定について

事務局

(資料にて説明)

教育長

ご質問等お願いします。

徳岡委員

15 頁の表で 2 種類の標準と保育短時間っていうのがありますが、保育短時間っていう人もおられますか？

事務局

いらっしゃいます。

事務局

例えば下のお子さんがまだこども園に入っておられなかったりして保護者のどちらかが働いてないとか保育にかかる時間の部分であります就労によって標準時間になるとかっていうことがよくあります。

徳岡委員

19 時が最終になっているのですが、19 時までには間に合わないような時ってどうなるのですか。

事務局

基本的には 19 時までには来てもらわないといけないというかたちになります。

徳岡委員

よほどのことがなければ、19 時までにお迎えに来られているということですね。

事務局

もちろん実際に今 18 時 15 分を過ぎて来られる方っていうのはかなり少ないです現状としては。例えば 19 時までとかは 1 組とかそういうかたちになります。ない日もあります。実態としてはそういう実態でこれやったから対象者がすごくたくさんあるっていうわけではないです。毎日この延長保育の時間を使っておられる方はあまりないです。

教育長

その他ご質問ございませんでしょうか。

岡崎委員

利用されるたびに 200 円ってことですけど、帰られる時に 200 円という感じですか。

事務局

そうです。キャッシュレスの場合、職員が現金を集金することの負担も軽減できますので、そういうことにも取り組んでいきたいと考えています。

岡崎委員

ちょっと現金はなかなか煩雑だなと。

事務局

いま、現金でやっていますが、当然集金した後は現金をこども園で預かっておかないといけない部分もありますし、毎日出納室に持って行けるわけではないので、月にまとめて役場に現金を運ぶという作業も出てきますけど、キャッシュレスにすることによって紛失だとか危険っていうリスクが軽減されますし手間の方も軽減されると思っています。

津島委員

保育標準時間の私の認識が「8 時 30 分から」だったのですが「7 時 15 分から」なのですか？そういう認識じゃなかったの。基本 8 時半より前は早朝保育だと思っていて。

事務局

確認しますけど、合っていると認識しています。

津島委員

8 時半より早く連れて行ったらいけないと思っていました。

事務局

職員の数の部分かなと思います。

教育長

議案第 40 号 北栄町延長保育実施要綱の一部を改正する要綱の制定についてご承認いただけますでしょうか。(承認)

5 協議事項

○令和 8 年度教育委員視察研修について

事務局

(資料にて説明)

教育長

いかがでしょう。

事務局

案としては前回関西方面どうでしょうということがあったので色々ピックアップして見ているところですが、先進地がありましたので大阪近辺になりますけども、その辺りでちょっと計画をさせていただいて、先は確定はしませんけども、資料のとおりインクルーシブ教育をテーマにさせていただければと思います。

教育長

その方向でということお認めいただいて、また具体案を出していきたいと思います。

津島委員

時期はいつ頃の予定でしたっけ？

事務局

時期ですね。なるべくあまり後ろ倒しにならないように早めとは思っています。昨年度が確かちょっと早かったですよね。

事務局

9月の30日と10月の1日となっていますね。

事務局

ちょっと早めに9月、10月ぐらいで。委員さんの行事が重ならないような時期に設定させていただこうと思います。

教育長

○令和7年度教育行政評価の教育委員会評価について

I子育てなら北栄町

①健やかな発育支援 1番～6番

徳岡委員

B評価とさせていただきました。

津島委員

Bです。

西川委員

Bです。

岡崎委員

Bです。

教育長

私もBにしております。教育委員会としての評価もBとさせていただきます。

②未就園児への支援 7番～9番

徳岡委員

Bにしました。

津島委員

Bです。

西川委員

Bです。

岡崎委員

Bです。

教育長

Bです。教育委員会の評価もBとさせていただきます。

③幼児教育・保育の充実 10番～13番

徳岡委員

Bです。

津島委員

Bです。

西川委員

Bです。

岡崎委員

Bです。

教育長

Bです。コメントをお願いします。

津島委員

10番の職員研修に関してなんですけれども、最終評価の数値に関して最終目標と実績の数字がこれだけ違うのに内部評価がBっていうところが、ちょっと評価の基準としてこれでいいのかと思いました。

徳岡委員

同じです。目標を上げればいい。明らかに目標を超えて達成しているからAランクのはずなのに、なんで内部評価がBなのかな。それなら次年度以降は目標値の方の回数を元から増やした方がいいかなと思いました。

教育長

ご意見として伺っておきたいと思います。教育委員会の評価としてはBとさせていただきます。

④子育て家庭の支援 14番～17番

徳岡委員

Bです。

津島委員

Bです。

西川委員

Bです。

岡崎委員

Bです。

教育長

Bです。教育委員会の評価としてもBとさせていただきたいと思います。コメントがございますでしょうか。

津島委員

15番の在宅育児支援事業についてですけど、毎年同じような改善方針が出ているのじゃないかと思っています。1番、2番改善方針に書かれている低年齢児への入所を抑制するのか、それとも多様な保育への経済支援を目的とするのかっていうところなのですけども、園の受け入れ体制の方が理由なのかそれ以外の理由なのか事業の目的がどうなのかっていうところ次第で改善方針が変わってくると思うので、そこをまずはっきりさせられた方がいいのではないかなと思いました。

事務局

この事業に関しては、この改善方針の部分については担当者の葛藤みたいなところが表れているのかと個人的には思っているところです。やりながらもその辺をどういうふうを考えていくかっていうところで実際に経済的支援なのか、その辺がはっきり担当としてもできないまま今に至っているということがずっと出ているのかなと感じているところです。実際的なところをどう見つめてこの事業を継続するのかわかるかっていうようなところです。

教育長

教育委員会の評価としてはBとさせていただきます。

⑤地域社会で関わる子育て支援 18番～19番

徳岡委員

Cとしました。

津島委員

Bです。

西川委員

Bです。

岡崎委員

Bです。

教育長

Bとしております。

徳岡委員

19番の親育ち事業の目的とやっているこの事業自体がしっくり来なくてももう少ししっくりしたことにならないかなっていうのが思いでCとしました。事業目的のところと実際にやっていることっていうのはそれに合致しているのかなという。目的をもう少し変えとか僕の方が勉強不足ってことになるのかもしれないけどCとしました。

事務局

ここに関してはシートの作り方の問題もあるかなと思っています。この事業シートについては4年間変わっていませんので目的や効果の部分については変わってきてないですけど、どちらかというと事業効果を見てもらったらと思うのですが、児童生徒が適切な知識を身につけて自分を大切に思うことができる、望まない妊娠や虐待を減少させる。知識を学ぶことで虐待予防が期待でき、良好な親子関係

といったところを実際には学んでいるのですが、事業目的のところの人工妊娠中絶者が多くていうところと虐待、この辺が数字的な絡みの中でのちょっと難しい話かなとは思っています。自分を大切にしましょうっていうこともありますし、効果の2段目にある虐待っていうところに関する親子の関係性をどういうふうに育てていくか、子ども年代の時にきちんとした知識をつけていくものもそうですけども、親には親としての虐待予防だとか人を大切にするっていうようなことの学習もしてもらいたい。親が子に同じことをすれば子はそれを学習して親になってまた同じことをするっていうサイクルが生まれてしまうので、そこを断ち切りたいというようなところの意味合いがあるというところなんです。この作りがすごく難しいなっていうこと、あと生きるための心の教育の部分については、小中学校との連携というのは令和7年度でうまくいってないのでやめようかというところで結論が出ているというところです。

津島委員

18番の同日公開参観日こども園ですけど、目標として保護者以外の参観者を増やすということで書かれているので、評価の指標は参加者数だけではなくて保護者以外っていうところを集計してみた方がいいのではないかなというのが1つと、あと小中学校の行事の兼ね合いでの参加者が少ないという声があるということで、学校行事のマラソン大会とかを1時間目から4時間目に入れてこども園に行けるわけがないっていう。重なるので時間が。保護者も重なっているんで、基本こども園って午前中しか公開してないじゃないですか、そこまでの時間に小学校が同じように行事を当ててきたらこども園の方の参加率は絶対下がります。マラソン大会に関しては別に公開にしなくてももう勝手に来るので保護者は。わざわざ同日公開の日にしてもらわない方がいいと個人的にはずっと思っているんで、そこら辺の調整をうまくされてはいいのかなと思いました。

事務局

今年度については参観日ではなくて、同日公開日という言い方に変わってきているという。やり方を試行錯誤していくというところがあるこの事業に関しては。評価指標ですけど、この事業に限らず全体としてこの評価指標が適切だったのかっていう疑問はこの間異動してきてからありますし、外部評価委員さんからもこの評価指標良かったのか、違った方が良かったんじゃないかっていうご意見をいただいていますので、今年度から新たな計画期間に入りますので、そこについてまたシートの作り直しがありますその際には気をつけながら我々も担当と一緒に考えないといけないと思っているところです。

津島委員

もう1つこども園で、同日公開の日にこういう活動しますよと出してくださるのですが特に保護者がいた方がいいような活動は入れないでいつ見に行ってもとりあえず自由に動いている、それを私たちは見るっていうくらいにさせていただけたら。時間指定だけやめてほしい全体的に。

教育長

教育委員会の評価としてはBとさせていただきます。

Ⅱ教育なら北栄町

①確かな学力を育む教育の推進 20番～26番

徳岡委員

Bです。

津島委員

Bです。

西川委員

気持ちとしてはAで少し迷ったのですが、最終的にBにしました。

岡崎委員

Bです。

教育長

私もBです。

西川委員

学校を支援する行政側の方もとっても本町頑張っておられるなっていうことがとってもよく分かります。その中でアクション週間、これ外部評価委員会のコメントの中で学期の初頭はどうかっていうふうにコメントがあったと思います。この記述がこれでいいのかなってことを少し思いました。学期がスタートして少し落ち着いた頃からスタートしたらいいのかなってことを思いました。行政が主体となってこのアクション週間をしていくっていうことは保護者や地域にとってとっても素晴らしいことだなと思いました。サマースクールの件で、他の町にない取り組みでとってもいいなってことで次年度も行っていたきたいなと思っております。ただ中学生・高校生のボランティアさんが来ました。中学校のボランティアさんは年齢が近いせいもあってとっても優しく子どもたちに接して、一緒に悩んで話しながらという姿が見られましたけども、高校生の方が少し自分が来ている目的は何なのかってことがもう少し押さえて関わっていただけたらもっとありがたいかなと思いました。

津島委員

21 番アクション週間について、実施していればいいわけではないので、実施回数を指標とするのはやめた方がいいかなということが1つと、あとメディアコントロール 10 年はちょっと長すぎると思っています。もうずっとこれしかやってないで、長く在籍している保護者としてはもういいかなという気持ち。学校としてメディアとの付き合い方っていう指標が変わっていていると思うので、内容の変化っていうのも必要かなっていうところでメディアコントロールについてはもうちょっと検討していただきたいかなと思ったりしています。26 番、通学費補助事業について、R 7 の最終で目標値が例年の半分の 80 から急に 40 になっていて、目標を達成したっていうところがどういう状況なのかが分からないので分かれば教えていただきたい。

事務局

先にメディアコントロールのところですけども、メディアコントロールだけを悪いものメディアが多いのがダメじゃなくて、今年ちょっとマイナーチェンジですが、自分の生活を振り返ろうっていうコンセプトで呼びかけをして、やることは変わらずメディアコントロールですけど、着目点っていうところは変えないといけないかなと思ってご指摘も踏まえた上でマイナーチェンジも含めながらやっていけたらと思っています。

事務局

26 の通学費助成ですけども、数字がなぜ下がっているのかちょっと今記憶してないです。決算見込み額としては増えているというところなんです。

津島委員

件数を目標値にしているなら金額じゃないと思います。

事務局

目標値が当初から 40 っていうことなので、そもそも少なくなる予定だった。対象者が少なくなるけど距離が長くなって 1 人当たりの支払い額が増えていると。

岡崎委員

23 の学力検査の実施のところですけども、県内の東中西の様子というのが、私立の高校とか中学とかできて中部の子が東部に行ったり西部に行ったりって自由なのですけども、学力が東中西と比較してどうってことはないのかもしれないのですけどそこが気になっています。

事務局

高校入試の得点分布みたいなのは中学 3 年生が県立高校の入試を受けた際の得点分布とか毎年出るので、そこだけでの比較ですとやっぱり中部は低いです。東部や西部は高めで中部はちょっとそれと比べると低めの数値はずっとここ近年とかではなくて低い数値は出ています。

教育長

県の診断テストというのは今まだやっていますか。

事務局

やってはいますがそれを一括して集計しようというところまでは動いてない。テストは配っていますが使うのは学校に任せるという感じです。

西川委員

この学力検査が全国学力学習状況調査と鳥取学力学習状況調査。それから NRT。県のテストが 3 本ぐらいあって現場としてはまたテストみたいな感じで捉えた場面があるので、そこをどう捉えたらいいのかがある。県の診断テストは各学校に任せて評価してそれを次の学年の子どもたちに生かすというかたちでの扱いである。

教育長

教育委員会の評価としては B とさせていただきます。

②豊かな心と社会性を育む教育の推進 27 番～34 番

徳岡委員

B です。

津島委員

B です。

西川委員

B です。

岡崎委員

B です。

教育長

私も B です。コメントがありますでしょうか。

岡崎委員

30 の生き方を学ぶ講演会で講師の先生ちょっと苦労されているってことが書いてありますが、よくあ

る職業じゃなくて普段あんまり北栄町に住んでいて触れられないような職業の人の話を聞くっていうのも、なかなかないようなお仕事の話も聞けるのが将来に向かってまたちょっと広がるのかなというふうに思っています。

津島委員

今の講師選定のお話で言うと、すごく立派な講師さんを選定される機会が多くなって思っているのですが、子どもたちがあまりに自分の軸とかけ離れたところの人の話を聞いても自分ごとにならないし、もう少し現実的で子どもたちがあそうそうって思えるような講師さんでもいいのかな。講師選定のハードルを上げすぎないっていうのもあっていいのかなと思ったりしました。

教育長

北条側は大ベテランじゃなくて世代の近い若い人の声を聞こうとか工夫されているような気がします。参考にさせていただきたいと思います。教育委員会の評価としてはBとさせていただきます。

③健やかな体を育てる教育の充実 35 番～36 番

徳岡委員

Cにしました。

津島委員

Cにしました。

西川委員

Bにしました。

岡崎委員

Bにしました。

教育長

Bです。コメントがありますでしょうか。

徳岡委員

35 部活の推進ですが、単独指導者時間が増えているのに教員の時間が減少しなかった。外部指導員を入れているのに逆行しているっていうのはおかしい話で。目的が全然できてないのではという思いがするということでCにしました。

津島委員

コメントとしては 36 番。改善方針のところに他地域の好事例を実践に取り入れるということで書いてあるのですが他地域は他地域、北栄は北栄っていう地域柄っていうところは必ずあると思うので、あまり実験体にしなくて欲しいというか、ある程度協議をした上でやってみるっていうところに持ってほしいというのが1つ。あと指導員を入れることに多分今取り組んでいただいていると思うのですが、増やすに重きを置きすぎずに人物の評価っていうところをしっかりと、学校現場なので子どもたちへの将来の影響っていうところも踏まえて、その辺りの評価指標っていうのをどういうふうにして選人するのかっていうところまで一緒に考えていただきたいなと思いました。

岡崎委員

部活動に楽しさを求めるのかそれが強さを求めるのかってまた評価が違ってくると思うんですね。部活動は教育の1つだと思うので、ただ単に強かったらいいってもんでもないのかなって個人的には思っています。技術的なところと普段の学校生活の情報共有が指導者の方とうまく取れたらいいですし

指導者の方の時間、先生が引かれる時間っていうことの区別ができたらなと思っています。

西川委員

学校の教職員が部活動を指導する場合、技能やいろんなことを考えながら指導していくのですが、子どもの体力とか体のことも考えながら指導されているように思うのです。外部指導者が来た場合、実績を残そうと意識する指導者が来ると、子どもがついていかなかったり必要以上に体を使って壊しちゃったりっていうのは怖いなっていう気がしているところです。まだまだ課題が多いと思います。学校自体の教職員の意識も変わっていかないといけない。外部指導者が来る場合それなりの手当金がきちんとならないと指導者がなかなか出てこない。課題が多い中での取り組みだろうなっていうことを思いました。

事務局

人選については加味した上で選ぶ必要もあると思いましたし、実際に任命してからでも指導内容というところは学校の規約も含めて進めていかないといけないと思いました。子どもたちが不利益を被らないようには気をつけていきます。時間数のことですが、部活指導員さんを配置している部に関して指導時間は減っています。指導員さんの配置には意味があると思っています。今回配置されないものが出て教科の負担が一気に増えた。配置されない人が出た事によって本来受け持つはずのない学年であったりとか授業数が増えたことによる教材研究などの増加などに伴う負担がずっと続いてしまった。例年から比べるとすごく増えている。その結果こういう結果になってしまったというところがあり減少に向かわなかったという実情がありました。部活指導員自体の配置が年数が経ってきています。指導員の数は予算も含めて増えていない現状。予算も人もなかなか確保できていかないということが部活動についての課題かなと思っているところです。

教育長

子どもたちがそういった運動がしっかりできる場を確保していくっていう方向性を大事にしながら考えていきたいと思いますので、これからまだまだ課題が大きいというような捉えで教育委員会の評価としてCにさせていただきます。

④保・こ・小・中高連携の充実 37 番

徳岡委員

Bです。

津島委員

Bです。

西川委員

Bです。

岡崎委員

Bです。

教育長

Aにしました。

徳岡委員

こども園、小学校、中学校は身近な感じがするけど、高校生が関わった時に関わることで何を得ているのだろうかという思いが1つします。高校生になったら企画してこうしたいっていう企画の方

にも関わらせてあげればいいのかっていう思いはしました。

事務局

体育や部活動、専門的な人が来てくれて自分が当たり前にやっていることが後輩たちに教えられるところでの達成感っていうのを得てくださっているような感じがします。

教育長

高校生に触れ合う機会が小中に比べて少ない。レインボープランの高校生の感想とかが多分拾ってあると思うそれを見ればそんなことを勉強してくれているのだっていうのがあるらしい感じがします。高校生のことを分かってない感じはまたあるかなと思いますね。教育委員会の評価としてはBということにさせていただきます。

⑤特別支援教育の充実 38 番～39 番

徳岡委員

Aにしました。

津島委員

Aにしました。

西川委員

Aにしました。

岡崎委員

Bです。

教育長

Bです。コメントをお願いします。

津島委員

38 番の通級ですけど、最終評価の目標値について言うんですけど、R 4、R 5 に比べて R 6、R 7 の研修への参加の延べ人数の目標値が極端に少なくなっているのですが、何か対象の方が変わったとかなんか研修の内容が変わったとか理由があったのでしょうか。

事務局

その数字の変化は把握してないですが対象者が減っているということだと思います。

西川委員

内部評価の方もほぼ目標達成というかたちでなされております。先ほど出ましたインクルーシブ教育の方向性とよく似ていると思うのですが、学級であっても学校であっても1つの社会だと。いろんな子どもたちがいていいのだと。いろんな子どもたちのいいところをしっかりと伸ばして、1人1人の発達に応じたきめ細やかな指導っていうのはとても大事なことのだろうし、そういったことが結構細やかになされているのかってことを授業を見させていただいたり資料を読んでそう思っております。旧大栄ですけども北栄町は充実させておられるかなってことは感じておりました。

教育長

教育委員会としてはAにさせていただきたいと思います。

⑥グローバル化に対応できる教育の推進 40 番～42 番

徳岡委員

Bです。

津島委員

Bです。

西川委員

Bです。

岡崎委員

Bです。

教育長

Bです。教育委員会の評価としてはBということにさせていただきます。

⑦家庭と地域で育む教育の推進 43 番～47 番

徳岡委員

Cにしました。

津島委員

Cです。

西川委員

Bにしました。

岡崎委員

Bにしました。

教育長

Aにしました。コメントを聞いてみましょうか。

徳岡委員

同日参観日小中学校の方だと思うのですが子ども保護者の方が多くて一般の人にはあんまり会うことが少ないというのが1つと、46の家庭教育12か条もなんとなく今の若い人には響かないのではないかなというようなこともあって朝の元気配達便もマンネリ化しているような感じがして、考えないといけないかなってというのがあってCにしております。

津島委員

44番の交付金ですが自治会・PTA・地域の有志の方へということなのですが、申請が増えていないということで引き続き周知をはかるということが書かれているのですが、需要が少ないのではないかっていうところですね。需要がないのであれば事業化する必要があるのかっていうところも含めて検討が必要なのかな。46番家庭教育12か条について、予算執行とかがないのでゆっくり検討されてもいいのかもしれないですけど、実際定着させるような動きっていうのも見られていないと思うので、やるのかやらないのかっていうところは必要かなと思いました。

徳岡委員

町民会議の中にコミュニティスクールの北条地区大栄地区っていうのは入っているのですよね。コミスクが一番中心になって動いていかなきゃいけないところが町民会議も入っておられないし。町民会議のメンバーたちがバックアップをしてあげているかもしれないけど、もっと協力してあげる体制を作らないといけない気もするのですね。

津島委員

学校運営協議会の委員さんってどこが委嘱ですか？

事務局

教育委員会です。

津島委員

どこが人選して委嘱しているのですか。

教育長

現委員さんが提案をしてくださる。

事務局

今までそのCSと町民会議をリンクさせて考えたことがなかったですけども、教育長からアドバイスをいただいて地域の共同本部があまり具体的に動けてない部分ですね。そちらの方と町民会議を重ねるようなことができないのかなってというのが今担当と話をしているところで、CSと町民会議をリンクさせながら今後は進めていけたらいいなという思いであります。

教育長

教育委員会の評価としてはBにさせていただきます。

⑧安全で快適な教育施設の設備 48番

徳岡委員

Bです。

津島委員

Bです。

西川委員

Aにしました。

岡崎委員

Bにしました。

教育長

Bにしております。西川委員のコメント。

西川委員

大規模改造や回収というかたちで、町長さんがリーダーシップを取りながらどんどん学校が安全で快適な教育施設の整備をされているなことを強く思っております。また体育館等の方にも空調整備等も考えられたりしながらすごく積極的にそういった部分進めておられるなことでAにしました。

教育長

ご意見も踏まえながら教育委員会の評価としてBということにさせていただきたいと思います。

Ⅲ住み続けるなら北栄町

①人権を尊重するまちづくりの推進 49番～53番

徳岡委員

Bです。

津島委員

Bです。

西川委員

Aにしました。

岡崎委員

Bです。

教育長

Bです。

西川委員

本町のいろんな人権に対する取り組みっていうのがとっても一生懸命されている姿、町民一人一人のニーズに沿ったいろんな事業が展開されているっていうのはいいなってことを毎回思っております。人権文化センター中心にしながらいろんなこともなされており、今まで人権学習会をされていたのですけども、今回ほくほクラブ事業とかたちを変えながら、学校の総合的な学習の時間と連動させて人権を基盤にした探究的な学びをしっかりと子どもたちの主体性を持ちながら行動化に向けて力を養っている狙い。こういうような視点の当て方で子どもたちの主体的な学びっていうのをしっかりと身につけていくのかなってこと思いました。

教育長

目標値と合わせて教育委員会の評価Bとさせていただきたいと思います。

②安心で活力ある地域づくりの推進 54番～55番

徳岡委員

Cです。

津島委員

Cです。

西川委員

Bです。

岡崎委員

Cです。

教育長

Bです。いかがでしょうか。

津島委員

54番の通学路安全対策事業について評価の指標がすべてボランティアになっているところが気になっています。安全対策とか防犯対策をいつまでもボランティアだけでいいのかっていうのが思うところでありまして、見守りが必要なのは登下校ってことになると思うのですけれども、全体的に地域で見守りってきつと必要になっているものが多いかなというのもあるので、できれば町の予算で少し防犯カメラとかそういうものに頼ってというかたちでの対策っていうのも今後検討をしていただく必要があるんじゃないかと思うところです。どうしてもボランティアでなんとかしていこうっていうのはなかなか難しく、本当に下校時の見守りをボランティア例えば親世代がということになると、見守りができる時間に下校させるっていう逆の方向に行くしかなくなってしまうので、防犯安全対策の辺りは町として全体的に考えないといけないかなと思うところがあります。

事務局

防犯カメラもどの程度つけるかっていうところも出てくるかなと思ったりはします。台数が町内全部

になっていけばかなり台数必要になっていくでしょうし、どういうやり方がいいのかというのはこれから課題として登っていくのだとは思うのです。地域の方や保護者の方の力っていうところではなかなかというのがこれからなのだろうなと思ったりはするところもあります。

津島委員

都会の方とかだと防犯っていうところも踏まえて、キッズ携帯だとかスマホみたいなものだったりGPS だったり、そういうものを持たせない学校に対してのお声が色々あるわけじゃないですか。そういう話になってきた時に絶対に収集がつかないようになるっていうのもあるし、こちらから提案できるものがあるのだったら。

西川委員

前に自治会長会なんかで、子どもの安全を確保するのに自分たちに何ができるだろうかっていうようなことも1回出たことがありました。そんな中で大島の取り組みがすごく提案されたのですが、各自治会に温度差があるなってことを思いました。地域によっては子どもたちをしっかりと見守ろうという地域もあればあまり関心のないところもあるし。私の家が学校すぐ近くなのでいろんなところにボランティアの方が立っておられて頑張っておられる姿よく見るのですが、なかなか難しさもあるけれども地域に啓発しながら子どもたちの見守りっていうのを続けていく必要があるのだろうなと思いました。

教育長

教育委員会の評価としてはCとさせていただきたいと思います。

③青少年の健全育成の推進 56 番～58 番

徳岡委員

Cです。

津島委員

Cとしました。

西川委員

Bです。

岡崎委員

Cです。

教育長

Cです。コメントはいかがでしょうか。

津島委員

57 番の町民会議の指標なのですが、児童生徒の自発的で元気な挨拶の割合をどうやって評価していきますかっていう、主観になってしまうので数値の指標として基準はそれでいいのかっていうのが1つあるのと、58 番の成人式の実行委員会ですけど実行委員の関わってくれる新成人が少ないって毎年よく聞きます。純粋に町が盛大に祝ってくれればいいって思っているんです。実行委員会として新成人自らが企画運営をするってことは別にいいことだとは思いますが、ただ本当に純粋に招待されるお客としてすごい装いをして祝われに行くそれじゃダメなのだろうかって思うところがあります。実行委員会っているのかなって思っているので一応お伝えしときます。

岡崎委員

57のあいさつ運動を見て、あいさつ運動推進事業所の新規がなかったみたいを書いてありますが、そもそもその推進事業所というのは具体的にどういうところ？毎日子どもたちが行くようなところですか。

事務局

今あいさつ運動強調週間ということで今やっているのですが、こういうところに参加をさせていただいて強調週間だけでなく年間通じてできる時にあいさつ運動という、例えばのぼりを立てるだけでも機運の醸成の1つですのでそういったことをやっていただける事業所です。

教育長

成人式の位置付けをどうするかと思いながら聞いておりました。教育委員会の評価としてはCとさせていただきます。

④親しみの持てる生涯学習の振興 59番～65番

徳岡委員

Bです。

津島委員

Bです。

西川委員

Aです。

岡崎委員

Bとしました。

教育長

Aです。

西川委員

生涯学習は大きなテーマで住み続けるなら北栄町ということで、生涯学習の推進は公民館の役割はとても大きいと思います。いろんな町民のニーズによる多種多様な事業がきめ細やかに実施されていると思いました。やっぱり町民もいろんな事業に参加しながら生きがいを感じながら生活していくのはとてもいいことだし、期待を込めてAにしております。

教育長

教育委員会の評価としてはBとさせていただきたいと思います。

⑤スポーツ文化の活動の推進 66番～77番

徳岡委員

Bです

津島委員

Bです。

西川委員

Bです。

岡崎委員

Bです。

教育長

Bです。

教育委員会の評価としてはBとさせていただきます。コメントありましたらお願いします。

津島委員

75 番の北栄文芸ですけど、今編集の方ってどんな方で何人くらいでされているのですか？

事務局

編集委員が6人で専門とされている方の代表の方に集まっていたいて、年4回発行しますけどその前に集まって協議をさせてもらっています。

津島委員

編集委員の方の後継探しの方が心配ですけどあてがありますか。

事務局

実際のところお辞めになりたいということもありまして、なんとかというお願いをさせてもらいながら後継の方を連れてきていただいたというところはありません。北栄文芸ですが編集委員が肝になっていますのでいなくなったら文芸は立ち行かなくなるというのは感じています。編集委員の後継者というか関わってくださる方を普段から繋がりを広げていくことが必要かなと思っています。

津島委員

快諾していただけない理由があると思うです。理由がどういうところにあるのかというところが肝心なのかなと思うので、その部分が解消できるような理由であれば解消の方向を考えていただくのがいいのかなと思いました。

教育長

教育委員会の評価としてはBにさせていただきたいと思います。

⑥暮らしに役立つ図書館づくりの推進 78 番～81 番

徳岡委員

Bです。

津島委員

Bです

西川委員

Bにしました。

岡崎委員

Bにしました。

教育長

Bです。コメントございますでしょうか。

津島委員

81 番の図書館ですけどマタニティファーストブック私もいただいた経験があるのですが、配布後の感想とか実際の活用とかそういうもののフィードバックはどうしておられるのですかね。マタニティファーストブックの広報などに今までの利用者の方がどうだったのかとかというところの声が入ったりするといいのになと。効果があるのかないのか評価を実際もらっていないのに予算化していくというのは違う気がしていて、最近は Google フォームなどで QR をポンっと渡すだけで済むと思うので、配布の意図が伝わっているとか実際に活用されているとかそういうところを1回見ていただくのも

いいのかなと思いました。

教育長

教育委員会の評価としてはBとさせていただきたいと思います。

⑦地域を学び、まちを支える人づくりの推進 82 番～87 番

徳岡委員

Bです。

津島委員

Bです。

西川委員

Bにしました。

岡崎委員

Bです。

教育長

Bです。コメントございますでしょうか。

西川委員

82 のところで地域副読本のことが出ております。地域の副読本は検定教科書にない教材です。子どもたち自分たちの故郷の事や地域の事を大変知る機会があって効果的なものだと思います。現場を考えると各教科の学習内容が非常に多いです。なかなか副読本を使って一定時間を学ぶというのは現実問題難しい。地域教材を学ぶ時間は確かに難しいのだけでも、総合的な学習の時間と関連付けながらでも伝えたい内容もたくさんあるのかなとそのことを伝えたいなと思っています。

津島委員

87 番の中学生と町長が語る会ですけど中学生にとって町長を身近な人にしたいっていう気持ちがあって、町の1番偉い人がすごく近くを感じるって北栄町を身近に感じるというところに繋がるのかなと個人的に思っていて直接語り合っていたらとぜひ毎年お願いできたらと思います。

教育長

教育委員会の評価としてはBとさせていただきたいと思います。協議事項追加があります。

○北栄町環境審議会委員の推薦について

事務局

(資料にて説明)

徳岡委員

承知しました。

教育長

徳岡代理ありがとうございます。

6 報告

○小中学校体育館等空調整備事業について

事務局

(資料にて説明)

教育長

バズーカをキャットウォークに置いて、キャットウォークは通れる？

事務局

通れます。外に室外機をおきます。

教育長

○学校給食センターLED 化工事について

事務局

(資料にて説明)

教育長

ご質問等ございませんでしょうか。(なし)

○中央公民館大栄分館新築工事(木質化工事)について

事務局

(資料にて説明)

教育長

ご質問ございませんでしょうか。(なし)

○令和8年北栄町議会6月定例会の日程について

○令和8年北栄町議会6月議会一般質問について

事務局

(資料にて説明)

教育長

ご質問いかがでしょうか。

津島委員

実現可能性はとりあえず置いておいての希望でいいですか？

事務局

その中の課題として予算のことであったり人材のことであったりというのが出てきますけども、理想としてこうですよということがあって、その中で何を優先していくか実現可能性の中には継続性というのも必要だと思うのですよね。そういったことも踏まえてご意見いただければと思います。

教育長

報告は以上とさせていただきます。

7 その他

事務局

マタニティファーストブックのアンケートを取っていないじゃないかということでしたが実はやっていました。母子手帳交付の際に引換券と1冊はお渡しさせてもらって、もう1冊は図書館に来ていただいて3冊から選んでいただく。その際にアンケートに記入していただいているので回収はしています。評価という点に関しては、ご意見というかたちになるのでこの事業に対しての項目が今のところないので、意見欄でいただくようにはしています。その場でその時に書いていただくようにしていま

